（様式2） 実行計画管理シート

事業名	71	日中一時支援事業	部・課	福祉部　障害福祉室

総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
	施策目標等	10　障害者が自立し、社会参加ができるまち
	（関連施策目標等）	
	（関連施策目標等）	
	4つの重点的に進める施策との関係	
総合戦略との関係	基本目標	
	施策目標	

市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	障害者(児)の日中における活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や一時的な休息を目的とする日中一時支援事業について、対象年齢の拡大や送迎などの加算制度の見直し等を行い、さらなる利用促進を図る。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要（目的・内容等）	障害児(者)を介護する方の一時的休息等を主たる目的として、1日から短時間、障害者(児)及び難病患者等の排せつ、食事の介護、放課後等の見守りを行う。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		年度当初に、前年度に契約を締結した事業所と引き続き契約を締結することにより、サービス提供事業所の確保に努めている。また、新規に事業参入の申し出があった事業所と契約を締結し、サービスの拡充を図っている。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・日中において、障害者・児等を一時的に預かることにより、障害者・児等の日中における活動の場の提供
	実績（評価）	平成28年度は延べ2,310回(利用人数76人)の利用があった。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進 【拡充(平成29年度当初)】 ・対象事業所の要件の拡充,・人員基準の緩和,・報酬単価及び利用者負担の見直し,・夜間加算などの創設等 ・対象年齢の見直し
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	日中活動系事業所等に通う障害者の夕方から夜間の居場所の確保のため、日中一時支援事業所の整備が求められている。		
今後の対応	平成29年4月より、事業者の対象要件及び人員基準の見直し、対象年齢及び利用日数の拡大、委託料の見直しを行い、日中一時支援事業所の整備促進を図っていく。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
利用回数	○		2441	2583	2310				2,880	回
指標の説明										
日中一時支援事業所の年間利用延べ回数			利用回数は減少している。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	12,443	6,221	3,110	0	0	0	3,112
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	0	0	0	0	0	0	0
2019(H31)年度	0	0	0	0	0	0	0

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）